

イーストスプリング・  
 インドネシア債券オープン  
 (毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドネシアの債券に投資を行う投資信託証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保および中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

&lt;運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法&gt;

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

作成対象期間 2018年8月21日～2019年2月18日

(毎月決算型)

第77期 2018年9月18日決算 第80期 2018年12月18日決算

第78期 2018年10月18日決算 第81期 2019年1月18日決算

第79期 2018年11月19日決算 第82期 2019年2月18日決算

(年2回決算型)

第2期 2019年2月18日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名: ネシア債

第82期末	基準価額	4,465円
	純資産総額	23,075百万円
第77期～ 第82期	騰落率	5.7%
	分配金合計	180円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名: ネシア債年2

第2期末	基準価額	9,816円
	純資産総額	57百万円
第2期	騰落率	5.5%
	分配金合計	0円

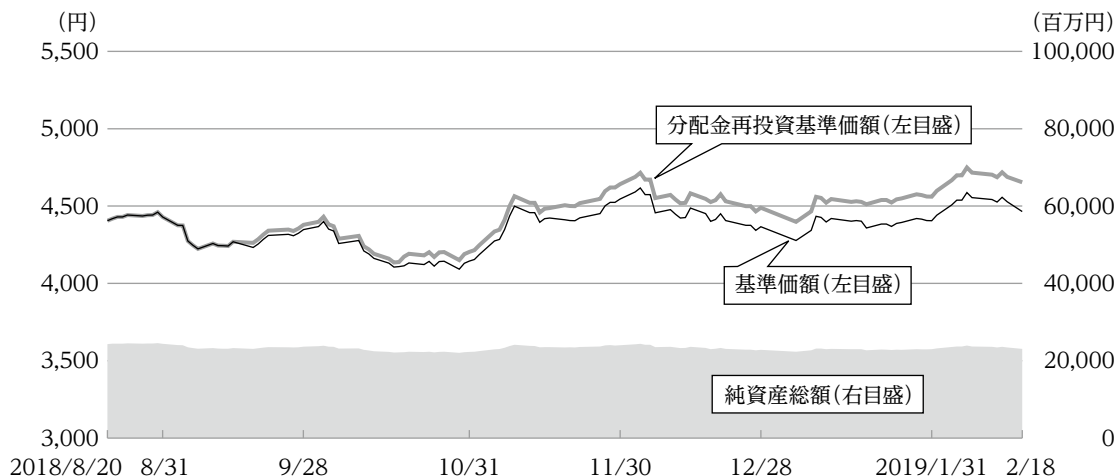
(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2018年8月21日～2019年2月18日)



第77期首	4,405円
第82期末	4,465円 (既払分配金180円)
騰落率	5.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

## 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

# 1万口当たりの費用明細

(2018年8月21日～2019年2月18日)

項目	第77期～第82期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.609%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、4,372円です。
( 投信会社)	( 9)	(0.214)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	(17)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
( 受託会社)	( 1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印刷)	( 0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	27	0.615	

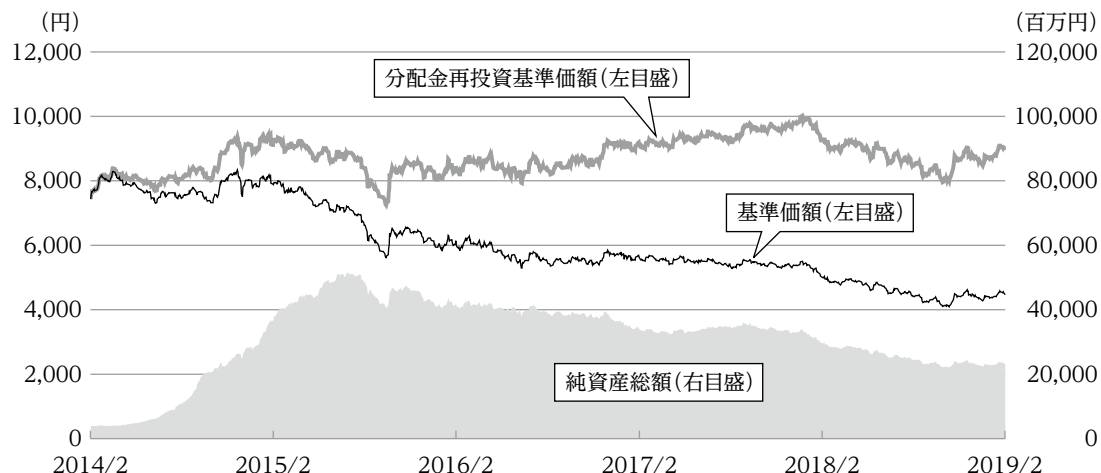
(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2014年2月18日～2019年2月18日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年2月18日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2014/2/18	2015/2/18	2016/2/18	2017/2/20	2018/2/19	2019/2/18
基準価額	(円)	7,432	7,883	6,007	5,546	4,993	4,465
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	1,200	1,200	880	690	360
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	23.8	-8.7	7.7	2.2	-3.2
純資産総額	(百万円)	3,775	36,591	41,088	33,541	29,545	23,075

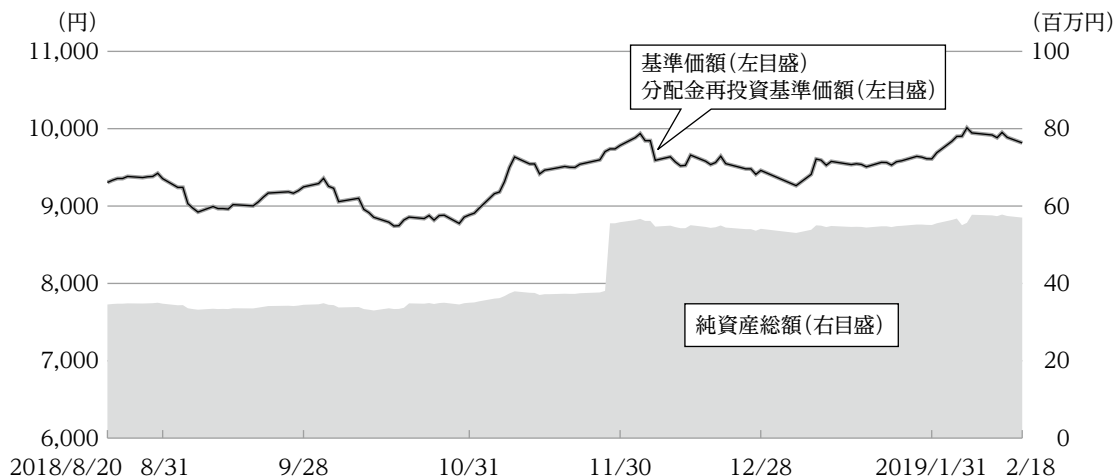
\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2018年8月21日～2019年2月18日)



第2期首	9,305円
第2期末	9,816円 (既払分配金0円)
騰落率	5.5% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

## 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2018年8月21日～2019年2月18日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	57円	0.609%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,390円です。
(投信会社)	(20)	(0.214)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.039	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 4)	(0.039)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	61	0.648	

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2014年2月18日～2019年2月18日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2018/2/28 設定日	2019/2/18	—	—	—	—
基準価額	(円)	10,000	9,816	—	—	—	—
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	—	—	—	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-1.8	—	—	—	—
純資産総額	(百万円)	12	57	—	—	—	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### インドネシア債券市場

当（作成）期、インドネシア債券は下落（利回りは上昇）しました。

当（作成）期初から2018年10月中旬にかけては、米国の利上げ観測の高まりやアルゼンチンペソ、トルコリラなど新興国通貨の急落を受けて、インドネシアルピアも大幅に下落し、10月上旬には心理的な節目である1米ドル=15,000ルピアの大台を超えるルピア安水準となりました。通貨の下落に伴い債券も下落しました。しかし、10月を境に原油安となったことから、11月に入りルピアは急速に値を戻し、債券も上昇（利回りは低下）しました。そのような中、インドネシア中央銀行（B I）は通貨の安定を目指して、2018年において6度目となる政策金利の引上げを実施し0.25%の追加利上げを行いました。その後は当（作成）期末まで、インドネシア債券市場は10年国債利回りで8%を挟み一進一退の動きとなりました。

### 為替市場

インドネシアルピアは対円、対米ドルともに上昇しました。

当（作成）期初から2018年10月中旬にかけては、米金利の上昇やアルゼンチンペソ、トルコリラなど新興国通貨の下落、原油価格の上昇などを受けて、ルピアは対円、対米ドルともに下落しました。しかし、その後は原油価格が下落に転じたことや、米中貿易摩擦の緩和期待、米国金融政策のハト派転換などを受けて、ルピアは回復傾向となりました。

### 国内債券市場

2018年8月下旬以降、米国債利回りが上昇を続ける中で日本国債利回りは緩やかに上昇（価格は下落）しました。10月下旬から当（作成）期末にかけては、米国株の下落や欧州政治不安などを背景にリスク回避姿勢が強まったほか、パウエル米連邦準備制度理事会（F R B）議長が利上げペースの鈍化を示唆したことで日本国債利回りは低下傾向となりました。



## ポートフォリオについて

### イーストスプリング・インドネシア債券オープン (毎月決算型) / (年2回決算型)

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド (以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」ということがあります。) の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主として、インドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リター

ンの最大化を目指して運用を行いました。当(作成)期は通貨ルピアが対円で上昇したことがプラス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）  
 (毎月決算型)

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2018年8月21日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月18日	2018年10月19日 ～2018年11月19日	2018年11月20日 ～2018年12月18日	2018年12月19日 ～2019年1月18日	2019年1月19日 ～2019年2月18日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	0.704	0.724	0.676	0.677	0.684	0.667
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	398	400	406	408	409	414

(年2回決算型)

項目	第2期
	2018年8月21日 ～2019年2月18日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	789

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### イーストスプリング・インドネシア債券オープン (毎月決算型) / (年2回決算型)

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドへの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

インドネシアの2018年の経常赤字は予想以上に拡大しましたが、引き続き管理可能な水準であり、2019年には改善するとみています。輸出の伸びは依然として弱い可能性があります。輸入はB Iの引締め政策を背景に緩やかながらも縮小するとみています。インフレ率については、補助金付き燃料価格の調整も予定されておらず、また国内景気も落ち着いていることから、低い水準が継続すると予想しています。米国の金融政策のハト派転換など、インドネシア市場を取り巻く環境は改善傾向にあります。米中貿易摩擦、英国のEU離脱、中国の景気減速などの不確実性の上昇により、下押し圧力がかかることも予想され引き続き注意が必要です。

米国金利が低下傾向であることや、インフレ率が低位で推移していることから、今後もルピアが安定的に推移するならば、さらなる利下げの可能性もあると考えています。

短期的にボラティリティが高まる状況も予想される中、債券価格が過度に下落した局面は魅力的な利回りでの投資機会になると考えています。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。欧米国債市場の変動性が高まっていることから、国内だけでなく海外の状況も注視しながら運用を行って参ります。

## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

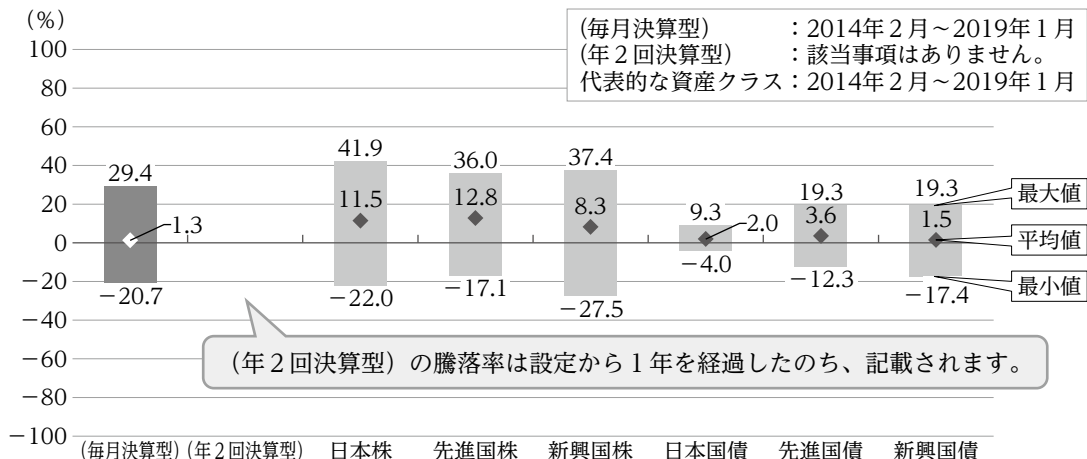
商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	(毎月決算型) 無期限 (2012年2月29日設定) (年2回決算型)無期限 (2018年2月28日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」(円建て)の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型) 毎月18日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型)毎年2月18日および8月18日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

## 指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P.モルガンGBI-E Mグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

(毎月決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

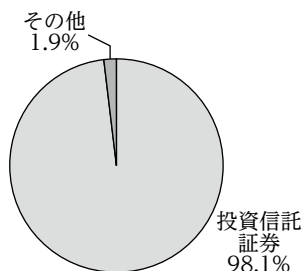
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

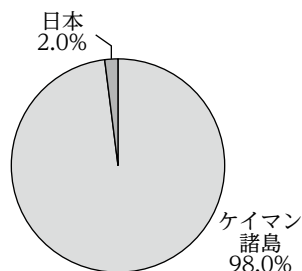
ファンド名	第82期末 2019年2月18日
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	98.0%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

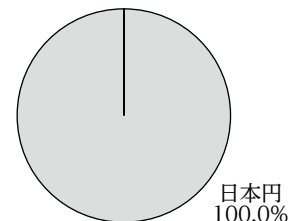
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第77期末 2018年9月18日	第78期末 2018年10月18日	第79期末 2018年11月19日	第80期末 2018年12月18日	第81期末 2019年1月18日	第82期末 2019年2月18日
純資産総額 (円)	23,064,764,193	22,193,174,592	23,457,231,780	23,004,893,803	22,698,814,080	23,075,276,369
受益権総口数 (口)	54,506,685,075	53,946,003,138	53,181,493,955	52,274,177,718	52,084,872,926	51,677,000,287
1万口当たり基準価額(円)	4,232	4,114	4,411	4,401	4,358	4,465

\*当作成期中(第77期~第82期)において追加設定元本額は2,386,453,145円、一部解約元本額は5,863,890,789円です。

## ファンドデータ

(年2回決算型)

### 当ファンドの組入資産の内容

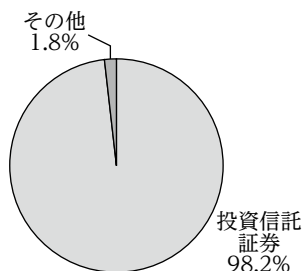
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

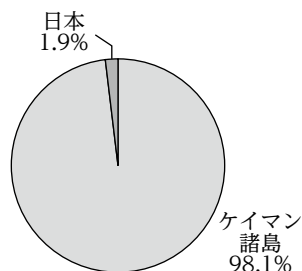
ファンド名	第2期末 2019年2月18日
イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	98.1%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

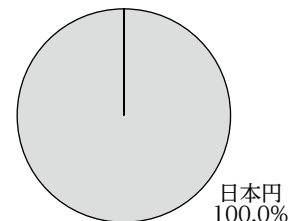
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目		第2期末 2019年2月18日
純資産総額	(円)	57,008,830
受益権総口数	(口)	58,078,834
1万口当たり基準価額	(円)	9,816

\*当期中において追加設定元本額は23,047,627円、一部解約元本額は2,107,851円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド>

#### 基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



#### 1万口当たりの費用明細

(2017年1月1日～2017年12月31日)

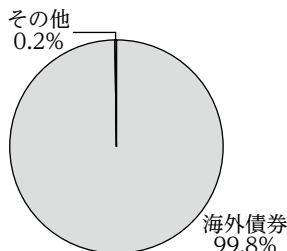
当該期間のFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

#### 組入上位10銘柄(組入銘柄数:37銘柄)

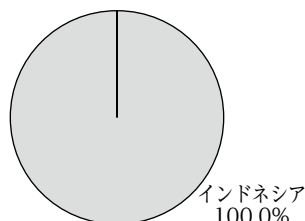
(2017年12月31日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.375%	2024/3/15	インドネシア	9.1%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.375%	2026/9/15	インドネシア	8.3%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.375%	2034/3/15	インドネシア	6.8%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	9.000%	2029/3/15	インドネシア	6.7%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	7.000%	2027/5/15	インドネシア	6.6%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.250%	2036/5/15	インドネシア	6.5%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.250%	2021/7/15	インドネシア	6.4%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	7.000%	2022/5/15	インドネシア	4.9%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.750%	2031/5/15	インドネシア	4.6%
INDONESIA GOVERNMENT	国債	8.250%	2032/6/15	インドネシア	2.9%

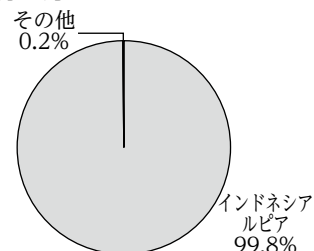
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1)組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3)インドネシアルピア以外の通貨建ての債券に投資を行う場合には、原則として、実質的にインドネシアルピア建てとなるよう為替取引を行いますので、通貨別配分は当該為替取引を考慮し算出しています。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。



## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

#### 基準価額の推移

(2017年2月28日～2018年2月26日)



#### 1万口当たりの費用明細

(2017年2月28日～2018年2月26日)

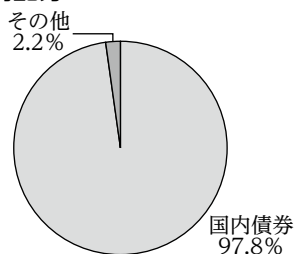
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	23円	0.215%
(投信会社)	(15)	(0.140)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.054)
(b) その他費用	1	0.013
(監査費用)	(1)	(0.013)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	24	0.228

#### 組入上位10銘柄 (組入銘柄数：20銘柄)

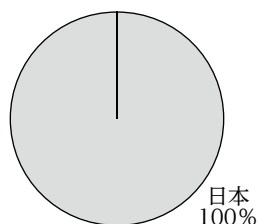
(2018年2月26日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	9.0%
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	8.3%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.6%
第48回利付国債（20年）	国債	2.5%	2020/12/21	日本	7.5%
第311回利付国債（10年）	国債	0.8%	2020/9/20	日本	7.1%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	7.0%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	6.1%
第53回利付国債（20年）	国債	2.1%	2021/12/20	日本	6.0%
第47回利付国債（20年）	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.9%
第112回利付国債（5年）	国債	0.4%	2018/6/20	日本	5.6%

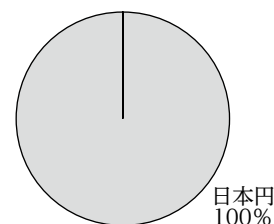
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。